

日本赤十字秋田看護大学大学院 看護学研究科修士課程

令和5年度前期 科目等履修生募集要項

- ・専門学校や短期大学卒業者の出願も可能です。
- ・大学院生と一緒に受講し、修得した単位は本大学院に入学後に単位認定を申請することが可能です。



内容は本学ホームページ
からもご参照いただけます



学校法人日本赤十字学園
日本赤十字秋田看護大学大学院

目 次

| | | |
|----|----------------------------|---|
| 1 | 開講予定科目 | 1 |
| 2 | 出願資格 | 1 |
| 3 | 出願資格審査(大学を卒業している方は必要ありません) | 2 |
| 4 | 出願 | 3 |
| 5 | 選考方法 | 3 |
| 6 | 選考結果の通知 | 3 |
| 7 | 入学手続 | 3 |
| 8 | 費用 | 4 |
| 9 | 授業時間及びシラバス | 4 |
| 10 | その他留意事項 | 5 |
| 11 | 令和5年度前期科目等履修生募集の予定 | 5 |
| 参考 | 令和4年度時間割 | 6 |
| | 修士課程教育課程 | 7 |
| | フローチャート | 8 |

「科目等履修生」とは、本大学院で開講している授業科目を大学院生と一緒に受講し、当該科目の単位を修得することができる制度です。科目等履修生として修得した単位は、本大学院に入学後に修得単位として単位認定を申請することが可能です。

1. 科目等履修生出願スケジュール

| 2023 令和5年 1 January | | | | | | | 2023 令和5年 2 February | | | | | | | | |
|---------------------|----|----|--------------|----|----|----|----------------------|------------|----|----------|------|----|----|----|--|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | | | 出願資格結果通知 | | | | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 科目等履修生出願期間 | | | | | | | 11 | |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | |
| | | | 出願資格審査申請手続期間 | | | | | 科目等履修生出願期間 | | | | | | | |
| | | | 科目等履修生出願期間 | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | |
| 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | |
| 出願資格審査申請手続期間 | | | | | | | | | | | 結果通知 | | | | |
| 科目等履修生出願期間 | | | | | | | | 26 | 27 | 28 | | | | | |

2. 開講予定科目

[令和5年度前期]

| 科目区分 | 科目名 | 単位数 | 時間数 | 回数 |
|--------|-------------|-----|-----|-----|
| 共通科目 | 看護研究 I | 2 | 30 | 15回 |
| | 看護政策論 | 2 | 30 | 15回 |
| | 看護理論 | 2 | 30 | 15回 |
| | 赤十字看護特論 | 1 | 30 | 15回 |
| | 心理学特論 | 2 | 30 | 15回 |
| 共通専門科目 | コンサルテーション論 | 2 | 30 | 15回 |
| | 看護倫理 | 1 | 15 | 8回 |
| | 臨床薬理学 | 2 | 30 | 15回 |
| 専門科目 | 看護管理学特論 I | 2 | 30 | 15回 |
| | 成育看護学特論 I | 2 | 30 | 15回 |
| | 成人看護学特論 I | 2 | 30 | 15回 |
| | がん看護学特論 II | 2 | 30 | 15回 |
| | 地域共生看護学特論 I | 2 | 30 | 15回 |

- ・受講希望者が少数の科目は開講しない場合があります。また、受講希望者が多数の科目は定数に達し次第締め切る場合があります。
- ・単位認定に必要な出席時間数は総時間数の3分の2以上です。15回の授業は6回以上、8回の授業は3回以上欠席すると単位認定のための試験を受けることができません。
- ・遠隔授業により受講可能な科目もあります。6頁をご参照ください。

3. 出願資格

次の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者

- (2) 学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学したものであって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
 - (10) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定する当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
 - (11) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- ※ (11) により出願する場合は、「**4. 出願資格審査**」をご覧ください。

4. 出願資格審査（※ 大学を卒業している方は必要ありません）

前出「3. 出願資格」の(11)により出願する場合は、出願前に出願資格審査を受けていただきます。

出願資格審査において本学から「出願資格あり」と認定された後、「5. 出願」を確認し、出願してください。

1) 出願資格審査 申請手続期間

令和 5 年 1 月 25 日(水)から 2 月 1 日(水) 17 時 00 分まで

締切日までに郵送（簡易書留又はレターパックライト）又は持参により必着

2) 出願資格審査 提出書類

出願資格審査の申請にあたっては、次の書類を提出してください。

(1) 出願資格審査申請書 <様式 5>

(2) 最終学歴校の卒業証明書

※ 様式 5 は、本学ホームページ(<https://www.rcakita.ac.jp/>) から様式をダウンロードすることができます。

※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。

※ 申請書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類は、いかなる事由があっても、返還しません。

3) 出願資格審査 審査方法

提出された書類により審査します。

4) 出願資格審査 結果の通知

審査の結果は、令和 5 年 2 月 3 日(金) までにメールで通知します。科目等履修生出願資格申請書に記載されているメールアドレスに送信しますので、確認してください。

5) 出願資格認定基準

基準：短期大学・専修学校又は各種学校を卒業し、看護師・介護福祉士等の資格を有して 3 年以上の実務経験があること。

5. 出 願

1) 出願期間

令和 5 年 1 月 26 日(木)から 2 月 8 日(水) 17 時 00 分まで
締切日までに郵送（簡易書留又はレターパックライト）又は持参により必着

2) 提出書類

科目等履修生の出願にあたっては、次の書類を提出してください。

- ① 科目等履修生入学願書 <様式 1>
- ② 履歴書 <様式 2>
- ③ 履修希望科目届出書 <様式 3>
- ④ 出願及び就学承諾書 <様式 4>

在職しながら本学で科目を履修する場合は、職場の長の承諾書を提出してください。

⑤ 志望動機書

800 字以内、横書き、パソコン作成のものを提出してください。

⑥ 最終学歴の卒業(見込み)証明書及び成績証明書

出願資格審査を経て、「**3.出願資格**」の(7)により出願する場合は、改めての提出は不要です。

⑦ 検定料 10,000 円

本学内券売機での証紙購入又は振込。 ※「**9.費用**」の項を参照のこと。

⑧ 郵便切手 370 円分×2 組

※ 様式 1、2、3、4 は、本学ホームページ(<https://www.rcakita.ac.jp/>) から様式をダウンロードすることができます。

※ 出願書類に不備がある場合は、書類受付後であっても、これを受理しません。

※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、履修許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類及び検定料は、いかなる事由があっても、返還しません。

※ 券売機の稼働時間は平日の 8 : 30 ~ 17 : 00 です。

6. 選考方法

提出された書類により審査します。面接を実施する場合は、出願後連絡します。

7. 選考結果の通知

提出書類の本学到着後 3 日以内に、受付番号をメールでお知らせします。入学願書には本人が確認のできるメールアドレスを記入してください。選考結果は令和 5 年 2 月 24 日(金) 本学ホームページに受付番号を掲載して発表します。

8. 入学手続

1) 入学手続期間

令和5年2月27日(月)から3月8日(水)まで

2) 提出書類

入学を許可された方には選考結果通知書とともに下記の書類が送付されます。

・入学金振込依頼書

上記入学手続期間内に入学金を納入してください。「入学手続書類貼付用」は本学学務課へ提出してください。

・誓約書および科目等履修生カード

すべて記入し、本学学務課へ提出してください。

9. 費用

1) 出願時検定料：10,000円

下記いずれかの方法で納入してください。

■ 本学学務課前券売機にて証紙「科目等履修生入学検定料」を購入し、窓口へ提出

券売機稼働時間：平日8:30～17:00

■ 本学指定口座へ銀行振込

振込先：秋田銀行 秋田東中央支店 普通 158455

北都銀行 本店営業部 普通 6375590

口座名：ニホンセキジュウジアキタカンゴダイガク
日本赤十字秋田看護大学

※秋田銀行本支店、北都銀行本支店からの振込は手数料不要です。

※上記2銀行以外からの振込手数料はご負担願います。

※ATM等での振込の場合は、振込人氏名の入力時、大学院識別番号「5」を名前の前に入れてください。

※窓口での振込で利用できる振込用紙は、ホームページからダウンロード可能です。

2) 入学金：30,000円 令和5年3月8日(水)まで

選考結果通知書およびその他入学手続書類と同送で振込用紙を送付します。

3) 授業料：15,000円/1単位 令和5年4月27日(木)まで

入学後、履修科目に応じた振込用紙をお渡しします。

10. 授業時間及びシラバス

1) 授業時間

| 授業時間 | |
|------|---------------|
| 1限 | 9:00 - 10:30 |
| 2限 | 10:40 - 12:10 |
| 3限 | 13:00 - 14:30 |
| 4限 | 14:40 - 16:10 |
| 5限 | 16:20 - 17:50 |
| 6限 | 18:00 - 19:30 |
| 7限 | 19:40 - 21:10 |

2) シラバス

授業内容や授業計画等を記載したシラバスは、本学の公式ホームページで公開していますので、参照してください。

<https://portal.rcakita.ac.jp/campusweb/slbsrchr.do>

11. その他留意事項

- ・在学期間は1年以内、履修限度は年間15単位までです。
- ・科目等履修生には科目等履修生証を発行します。図書館等の利用時に使用しますので、来学時は持参してください。
- ・科目等履修生に対しては、学割証、通学証明書、在学証明書は発行できません。
- ・手続期間内に所定の手続きを完了しない場合は、履修の許可を取り消します。
- ・出願期間後は原則として履修科目の変更を認めません。
- ・本学学生の履修者がなかった授業科目は開講中止となるので、履修できません。
- ・納入した納付金は返還しません。ただし、本学の都合による授業科目の開講中止の場合は、当該科目分の授業料を返還します。
- ・前期科目等履修生に出願し履修が認められた者が後期開講科目の履修を希望する場合には、再度願書を提出する必要はありません。年度を超える場合はご相談ください。

12. 令和5年度後期科目等履修生募集の予定

令和5年度後期科目等履修生の募集は下記のとおり行う予定です。詳細については日程が決まり次第ホームページ等で発表します。

| | |
|----------|-------------|
| 令和5年6月下旬 | 募集要項発表 |
| 令和5年7月上旬 | 出願資格審査受付期間 |
| 令和5年8月上旬 | 出願書類提出期間 |
| 令和5年8月中旬 | 選考 |
| 令和5年8月下旬 | 選考結果発表 |
| 令和5年8月中旬 | 入学手続期間 |
| 令和5年9月頃 | 履修科目確定・履修開始 |

(参考) 令和4年度時間割 (令和5年度の時間割は令和5年3月中にお知らせします)

今年度の時間割の一部を示しますので、参考にしてください。

| 回 | 看護研究 I | 看護政策論 | 看護理論 | 心理学特論 |
|----------|------------|------------|-------------|------------|
| 1 | 4月8日(金)6限 | 4月12日(火)6限 | 8月29日(月)5限 | 4月11日(月)6限 |
| 2 | 4月8日(金)7限 | 4月19日(火)6限 | 8月29日(月)6限 | 4月18日(月)6限 |
| 3 | 4月15日(金)6限 | 4月30日(土)1限 | 9月5日(月)5限 | 4月25日(月)6限 |
| 4 | 4月22日(金)6限 | 6月11日(土)1限 | 9月5日(月)6限 | 5月9日(月)6限 |
| 5 | 4月22日(金)7限 | 6月11日(土)2限 | 9月12日(月)5限 | 5月16日(月)6限 |
| 6 | 5月13日(金)6限 | 6月28日(火)6限 | 9月26日(月)5限 | 5月23日(月)6限 |
| 7 | 5月20日(金)6限 | 7月12日(火)6限 | 9月26日(月)6限 | 5月30日(月)6限 |
| 8 | 7月22日(金)6限 | 6月4日(土)1限 | 10月3日(月)5限 | 6月6日(月)6限 |
| 9 | 7月28日(木)6限 | 6月4日(土)2限 | 10月3日(月)6限 | 6月13日(月)6限 |
| 10 | 7月28日(木)7限 | 6月4日(土)3限 | 10月17日(月)5限 | 6月20日(月)6限 |
| 11 | 8月4日(木)6限 | 7月5日(火)6限 | 10月17日(月)6限 | 6月27日(月)6限 |
| 12 | 8月4日(木)7限 | 7月19日(火)6限 | 10月24日(月)5限 | 7月4日(月)6限 |
| 13 | 8月19日(金)6限 | 7月26日(火)6限 | 10月24日(月)6限 | 7月11日(月)6限 |
| 14 | 8月26日(金)6限 | 8月11日(木)1限 | 11月14日(月)5限 | 7月25日(月)6限 |
| 15 | 8月26日(金)7限 | 8月11日(木)2限 | 11月14日(月)6限 | 8月1日(月)6限 |
| 遠隔 受講 | 可 | 可 | 可 | 可 |

| 回 | コンサルテーション論 | 看護倫理 | 看護管理学特論 I | 成育看護学特論 I |
|----------|------------|------------|------------|------------|
| 1 | 4月14日(木)6限 | 4月13日(水)6限 | 4月16日(土)1限 | 4月11日(月)2限 |
| 2 | 4月21日(木)6限 | 4月20日(水)6限 | 4月16日(土)2限 | 4月18日(月)2限 |
| 3 | 4月28日(木)6限 | 4月27日(水)6限 | 4月20日(水)4限 | 4月25日(月)2限 |
| 4 | 6月2日(木)6限 | 6月30日(木)7限 | 5月14日(土)1限 | 4月15日(金)5限 |
| 5 | 5月12日(木)6限 | 7月5日(火)5限 | 6月11日(土)3限 | 4月25日(月)5限 |
| 6 | 5月19日(木)6限 | 7月12日(火)5限 | 7月6日(水)6限 | 4月27日(水)2限 |
| 7 | 5月26日(木)6限 | 7月19日(火)5限 | 5月28日(土)1限 | 4月13日(水)5限 |
| 8 | 6月9日(木)6限 | 7月26日(火)5限 | 7月23日(土)2限 | 4月20日(水)4限 |
| 9 | 6月16日(木)6限 | | 5月28日(土)2限 | 4月27日(水)4限 |
| 10 | 6月23日(木)6限 | | 5月28日(土)3限 | 5月9日(月)2限 |
| 11 | 6月23日(木)7限 | | 6月11日(土)4限 | 5月16日(月)2限 |
| 12 | 6月30日(木)6限 | | 6月2日(木)5限 | 5月23日(月)2限 |
| 13 | 7月7日(木)6限 | | 6月20日(月)5限 | 5月30日(月)2限 |
| 14 | 7月7日(木)7限 | | 9月1日(木)6限 | 6月6日(月)2限 |
| 15 | 7月14日(木)6限 | | 9月6日(火)6限 | 6月13日(月)2限 |
| 遠隔 受講 | 可 | 可 | 可 | 可 |

| 授業時間 | |
|------|-------------|
| 1限 | 9:00-10:30 |
| 2限 | 10:40-12:10 |
| 3限 | 13:00-14:30 |
| 4限 | 14:40-16:10 |
| 5限 | 16:20-17:50 |
| 6限 | 18:00-19:30 |
| 7限 | 19:40-21:10 |

大学院修士課程の教育課程 ※教育課程の変更承認申請につき、カリキュラム等が変更となる場合があります。

履修規程 別表1 (修士課程)

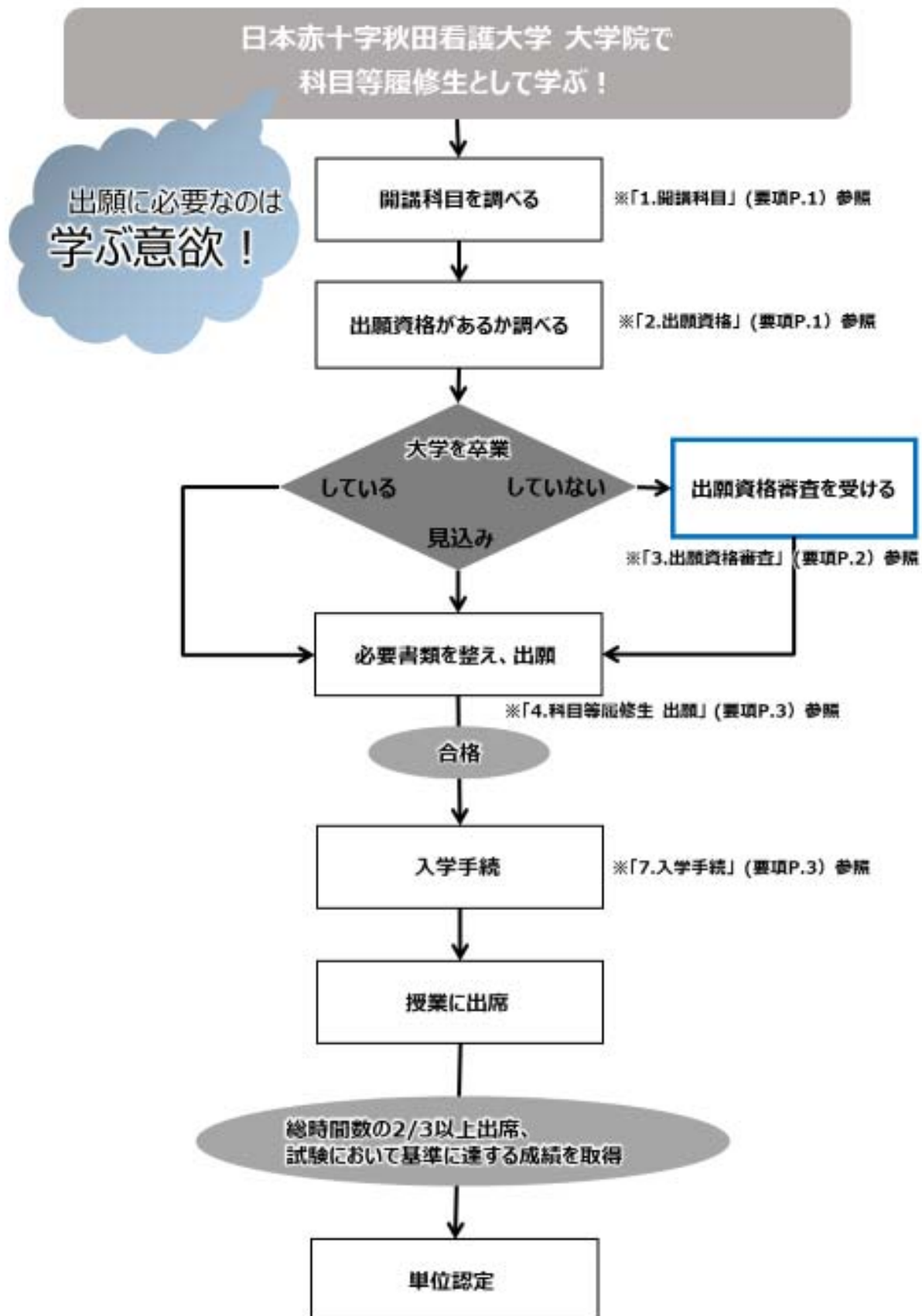
| 科目区分 | 分野 | 領域 | 授業科目の名称 | 単位数 | 必修 選択 | 分野別 必修 | | | |
|--------------------------|----|----|----------------------------------|------------|----------|---------------------|---|----|---|
| 共通科目 | | | 看護研究 I | 2 | 必修 | | | | |
| | | | 看護政策論 | 2 | 選択 | ※1 | | | |
| | | | 看護理論 | 2 | 選択 | ※1 | | | |
| | | | 看護教育論 | 2 | 選択 | ※1 | | | |
| | | | 赤十字看護特論 | 1 | 選択 | | | | |
| | | | 英文講読 | 1 | 選択 | | | | |
| | | | 情報科学特論 | 1 | 選択 | | | | |
| | | | 心理学特論 | 2 | 選択 | | | | |
| | | | コンサルテーション論 | 2 | 選択 | ※1 | | | |
| | | | 看護倫理 | 1 | 選択 | ※1 | | | |
| 共通専門科目 | | | フレンジック看護特論 | 2 | 選択 | | | | |
| | | | 臨床診断学 | 2 | 選択 | ※2 | | | |
| | | | 病態生理学 | 2 | 選択 | ※2 | | | |
| | | | 臨床薬理学 | 2 | 選択 | ※2 | | | |
| | | | 感染看護学特論 | 2 | 選択 | | | | |
| | | | 看護管理学特論 I | 2 | 選択 | □ | | | |
| | | | 看護管理学特論 II | 2 | 選択 | □ | | | |
| 基盤看護学 | | | 看護管理学演習 | 2 | 選択 | □ | | | |
| | | | 母子看護学 | 成育看護学特論 I | 2 | 選択 | ○ | | |
| | | | | 成育看護学特論 II | 2 | 選択 | ○ | | |
| | | | | 成育看護学特別演習 | 2 | 選択 | ○ | | |
| | | | 助産学 | | | 助産学概論 | 2 | 選択 | ● |
| | | | | | | リプロダクションに関する形態機能 | 2 | 選択 | ● |
| | | | | | | ウィメンズヘルス論 | 2 | 選択 | ● |
| | | | | | | 妊娠分娩進行に伴う検査・診断・技術 | 1 | 選択 | ● |
| | | | | | | 助産診断・技術学 I (妊娠・産褥期) | 1 | 選択 | ● |
| | | | | | | 助産診断・技術学 II (分娩期) | 1 | 選択 | ● |
| 助産診断・技術学 III (新生児期・乳幼児期) | 1 | 選択 | | | | ● | | | |
| 周産期ケア | 2 | 選択 | | | | ● | | | |
| 周産期の保健指導 | 2 | 選択 | | | | ● | | | |
| 周産期の異常 | 2 | 選択 | | | | ● | | | |
| 専門科目 | | | 国際・地域母子保健 | 2 | 選択 | ● | | | |
| | | | 助産管理・経営論 I | 1 | 選択 | ● | | | |
| | | | 助産管理・経営論 II | 1 | 選択 | ● | | | |
| | | | 助産学実習 I | 9 | 選択 | ● | | | |
| | | | 助産学実習 II | 1 | 選択 | ● | | | |
| | | | 助産学実習 III | 1 | 選択 | ● | | | |
| | | | 成人看護学 | | | 成人看護学特論 I | 2 | 選択 | △ |
| | | | | | | 成人看護学特論 II | 2 | 選択 | △ |
| | | | | | | 成人看護学演習 | 2 | 選択 | △ |
| | | | がん看護学 | | | がん看護学特論 I (理論編) | 2 | 選択 | ◇ |
| がん看護学特論 II (病態生理学) | 2 | 選択 | | | | ◇ | | | |
| がん看護学特論 III (援助論) | 2 | 選択 | | | | ◇ | | | |
| 健康療養生活支援看護学 | | | 老年看護学特論 I (理論編) | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| | | | 老年看護学特論 II (包括的アセスメント) | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| | | | 老年看護学特論 III (老年医学) | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| | | | 老年看護学特論 IV (援助論) | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| | | | 老年看護学特論 V (高齢者保健医療福祉政策とサポートシステム) | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| | | | 老年看護学演習 I | 2 | 選択 | ◎ | | | |
| 精神看護学 | | | 精神看護学特論 I (精神看護理論) | 2 | 選択 | ▽ | | | |
| | | | 精神看護学特論 II (精神・身体状態の評価) | 2 | 選択 | ▽ | | | |
| | | | 精神看護学特論 III (精神科治療技法) | 2 | 選択 | ▽ | | | |
| 地域共生看護学 | | | 精神看護学演習 I (援助技法) | 2 | 選択 | ▽ | | | |
| | | | 地域共生看護学特論 I | 2 | 選択 | ☆ | | | |
| | | | 地域共生看護学特論 II | 2 | 選択 | ☆ | | | |
| | | | 地域共生看護学演習 | 2 | 選択 | ☆ | | | |

| 科目区分 | 分野 | 領域 | 授業科目の名称 | 単位数 | 必修 選択 | 分野別 必修 | |
|--------------------------|----------------------------------|-------|--|-------------------------|----------|-----------|---|
| 専門科目 | 高度実践看護学 | がん看護学 | がん看護学特論 I (理論編) | 2 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学特論 II (病態生理学) | 2 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学特論 III (援助論) | 2 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学演習 I (がん薬物療法看護) | 4 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学演習 II (緩和ケア) | 4 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学実習 I (CNSの役割実習) | 1 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学実習 II (がん治療管理実習) | 3 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学実習 III (在宅がん看護実習) | 2 | 選択 | ■ | |
| | | | がん看護学実習 IV (高度実践実習) | 4 | 選択 | ■ | |
| | | | 老年看護学特論 I (理論編) | 2 | 選択 | ◆ | |
| | 老年看護学特論 II (包括的アセスメント) | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学特論 III (老年医学) | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学特論 IV (援助論) | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学特論 V (高齢者保健医療福祉政策とサポートシステム) | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学演習 I | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学演習 II | 2 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学実習 I | 5 | 選択 | ◆ | | | |
| | 老年看護学実習 II | 5 | 選択 | ◆ | | | |
| | 精神看護学 | | | 精神看護学特論 I (精神看護理論) | 2 | 選択 | ▲ |
| | | | | 精神看護学特論 II (精神・身体状態の評価) | 2 | 選択 | ▲ |
| 精神看護学特論 III (精神科治療技法) | | | | 2 | 選択 | ▲ | |
| 精神看護学特論 IV (精神医療の歴史・法制度) | | | | 2 | 選択 | ▲ | |
| 精神看護学特論 V (慢性期精神看護) | | | | 2 | 選択 | ▲1 | |
| 精神看護学特論 VI (司法精神看護) | | | | 2 | 選択 | ▲1 | |
| 精神看護学演習 I (援助技法) | | | | 2 | 選択 | ▲ | |
| 精神看護学演習 II (精神科治療技法) | | | | 2 | 選択 | ▲ | |
| 精神看護学実習 I (専門看護師の役割機能実習) | | | | 1 | 選択 | ▲ | |
| 精神看護学実習 II (精神科診断・治療実習) | | | | 2 | 選択 | ▲ | |
| 研究 | | | 看護研究 II | 2 | 必修 | | |
| | | | 課題研究 | 2 | 選択 | | |
| | | | 特別研究 | 6 | 選択 | | |
| | | | 精神看護学実習 III (直接ケア実習) | 4 | 選択 | ▲ | |
| | | | 精神看護学実習 IV (サブスペシャリティ実習 1: 慢性期精神看護 直接・間接ケア実習) | 3 | 選択 | ▲2 | |
| | | | 精神看護学実習 V (サブスペシャリティ実習 2: 司法精神看護(医療観察法領域の看護)直接・間接ケア実習) | 3 | 選択 | ▲2 | |

分野・領域別履修方法・修了要件

| 分野 | 領域 | 共通科目 | 共通専門科目 | 専門科目 | 必修研究科目 | 他 | 単位取得総数 |
|-------------|---------|--------------------------|---------|--|---|---------------------------------------|--------|
| 基盤看護学 | 看護管理学 | | | □の科目6単位 | | | 30単位以上 |
| 成育看護学 | 母子看護学 | | | ○の科目6単位 | | | 61単位以上 |
| | 助産学 | | | ○の科目6単位及び●の助産学科目31単位 | | | |
| 健康療養生活支援看護学 | 成人看護学 | 「看護研究 I」必修2単位 | 選択6単位以上 | △の科目6単位 | 「看護研究 II」必修2単位 「特別研究」6単位 計8単位 | 共通科目、共通専門科目、専門科目(演習・実習科目を除く)から選択4単位以上 | 30単位以上 |
| | がん看護学 | | | ○の科目6単位 | | | |
| | 老年看護学 | | | ◎の科目選択6単位以上 | | | |
| | 精神看護学 | | | ▽の科目選択6単位以上 | | | |
| 高度実践看護学 | 地域共生看護学 | | | ☆の科目6単位 | | | 42単位以上 |
| | がん看護学 | 「看護研究 I」必修2単位 | | ■の科目24単位 | 「看護研究 II」必修2単位 「課題研究」2単位 または「特別研究」6単位 計4単位または8単位 | | |
| | 老年看護学 | ※1の科目選択6単位以上 ※2の科目6単位 | | ◆の科目24単位 | | | |
| | 精神看護学 | 計14単位以上 | | ▲の科目24単位、但し ▲1から選択2単位、 ▲2から選択3単位 | | | |

フローチャート





ご不明な点についてのお問い合わせ、すべての郵送物の送付は下記へお願いします。

日本赤十字秋田看護大学
事務局学務課教務係大学院担当
住所 〒010-1493
秋田市上北手猿田字苗代沢 17 番地
電話 018-829-4171 (直通)
FAX 018-829-3030
MAIL g-school@rcakita.ac.jp